

(平成30年度単年度経営計画)

| | |
|----------------|------------------------|
| (公財)京都市健康づくり協会 | 平成30年度経営計画 兼 経営努力結果 |
|----------------|------------------------|

基本事項

| | | | |
|----------|-------------------------------|--------|--------------|
| 所管局課 | 保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課 | 本市出えん金 | 50,000 千円 |
| 基本財産/資本金 | 50,000 千円 | 本市出えん率 | 100.0 % |

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

| | | | |
|-----|-----|------|--------|
| 方向性 | 自律化 | 目標年度 | 平成30年度 |
|-----|-----|------|--------|

「今後の方向性」に向けた基本的方針

| | |
|-----|--|
| 業務面 | <p>市民が安全で効果的な健康づくりを行えるよう、健康づくりの理論の確立及び実践のための環境整備に関する事業を行い、市民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とし、関連取組を推進している。</p> <p>そのため、健康づくりの専門職である健康運動指導士を中心に、地域の関係機関や筋トレボランティア等と連携しながら、地域へ出向いて健康づくり支援等に貢献し、地域ニーズに応じた健康づくりを推進したい。</p> <p>施設利用者の継続的な施設利用はもとより、利用者の増加につなげていくために、広報等の充実や、医療機関等との連携などによるフォローアップ体制の充実を図っていく。</p> |
| 財務面 | <p>近年、施設利用者が増加しており、そのような方々に継続的に利用いただくことで、安定した収益を確保していく。</p> <p>そのうえで、健康づくりに関する専門性をいかし、受託事業等の拡大や自主事業等の充実・強化による収益の拡大を図っていく。</p> |
| 組織面 | <p>組織体制の強化と、職員の資質向上を図るため、当協会の固有職員に対し、重要ポストへの着任を命じることや、協会内にてコンプライアンス研修などを行うことで、職員が自身の職責を認識し、責任感を持って職務を遂行する環境づくりを行う。</p> <p>また、アルバイト職員の採用等を適宜見直し、最適な人員配置を行う。</p> |
| その他 | |

当年度の取組目標に対する意見

| | |
|-----|--|
| 所管局 | <p>近年、施設利用者が増加傾向にある中、協会の専門性をいかし、利用者の増加、収益拡大を図っていただきたい。</p> <p>また、協会の自律化を達成するため、収益の確保、職員の資質向上など組織の強化に取り組んでいただきたい。</p> |
|-----|--|

当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)

| | |
|-----|--|
| 団体 | <p>自律化に向けた手法について関係者間の合意が整うとともに、施設の利用促進が図れた一方で、収益向上には課題が残った。安定した収益の確保に向けて、組織全体で取組を進めていく。</p> |
| 所管局 | <p>経営収益が減となったものの、修繕費・消耗品費等の経費削減等に努め、少額の赤字に止めることができたが、一方で、経費削減には限界があるため、引き続き事業収益の増加に取り組み、安定的な収益の確保に努めていただきたい。</p> |

(平成30年度単年度経営計画)

| (公財)京都市健康づくり協会 | | 平成30年度経営計画 兼 経営努力結果 | |
|-------------------|---|------------------------|-------|
| 本市のえん率引下げに向けた実施計画 | | | |
| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 中期経営計画における取組内容 | えん率を低下させる手法を検討し実施する。 | | |
| 当年度目標 | 当協会の自律化へ向け、京都市のえん率の引下げ方法を検討し、これを実施する。 えん率の引下げに当たっては、公益財団法人を所管する京都府政策法務課と協議のうえ、手法を検討する。 | | |
| 当年度結果(※) | 京都府、京都市及び協会間で協議を進め、京都市のえん率を引き下げる方法について年度内に合意できたことから、次年度早期に基本財産の組み替えを協会内で実施することとなった。 | | |

(1)業務に関する取組

| 目標「利用者数の増加」 | |
|--------------|---|
| 中期経営計画における取組 | 高齢化が進む中、健康づくりに関する関心が高まってきたものの、健康づくりを習慣付けるに至らない利用者もいる。 そこで、当協会において健康増進センターのジムやプール利用者への働きかけ、健康教室や地域に出向いての健康づくり支援等の取組を行うことで、多くの方に健康づくりに取り組んでいただく。 |
| 当年度目標 | 施設利用者に対し、健康運動指導士などを中心に、健康づくりに関する意識の醸成を図り、継続的な施設利用、ひいては利用者の増加につなげる。 |
| 当年度結果(※) | プール・トレーニングルーム等の施設利用者数が過去最高となる12万2千人を超えるとともに、京都市から受託している介護予防事業としてシニア対象の栄養教室や中・高齢者筋力トレーニング教室を開催するなど、関連団体との連携協力により健康づくりの普及啓発に努めることができた。 |

| 指標1 | プール・ジム利用者数 | | | | (単位：人/年) | | | |
|--------|------------|---------|---------|---------|----------|----|---------|----|
| 中期経営計画 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
| | 116,400 | | 116,600 | | 116,800 | | 117,000 | |
| 実績 | 見込 | 実績(※) | 目標 | 実績(※) | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| | 116,400 | 117,257 | 116,600 | 122,409 | | | | |

| 指標2 | 定期券販売枚数 | | | | (単位：枚/年) | | | |
|--------|---------|-------|--------|-------|----------|----|-------|----|
| 中期経営計画 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
| | 480 | | 490 | | 500 | | 510 | |
| 実績 | 見込 | 実績(※) | 目標 | 実績(※) | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| | 480 | 495 | 490 | 471 | | | | |

| | |
|----------------|------------------------|
| (公財)京都市健康づくり協会 | 平成30年度経営計画 兼 経営努力結果 |
|----------------|------------------------|

(2)財務に関する取組

| 主要財務数値 | | | | | | | (単位:千円) |
|-----------|---------|---------|-------|----|-------|----|---------|
| | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 備考欄 |
| | 予算 | 実績(※) | 予算 | 実績 | 予算 | 実績 | |
| 経常収益 | 212,317 | 207,806 | | | | | |
| 経常費用 | 212,058 | 208,394 | | | | | |
| 当期経常増減額 | 259 | △ 588 | | | | | |
| 当期正味財産増減額 | 259 | △ 588 | | | | | |
| 資産合計 | - | 143,614 | | | | | |
| 負債合計 | - | 49,643 | | | | | |
| 正味財産 | - | 93,970 | | | | | |
| うち累積損益額 | - | 43,970 | | | | | |

目標「収益の拡大」

| | |
|------------------|---|
| 中期経営計画 における取組 | <p>当協会の健康づくりにおける専門性をいかし、受託事業の拡大や自主事業の充実・強化により収益の拡大を図る。</p> <p>そのため、利用者のニーズに応じた健康教室の実施や、一定数の利用者が見込まれる事業について、実施回数の拡大を図っていく。</p> |
| 当年度目標 | <p>施設利用者や健康教室等の利用者への支援等を通じ、利用者のニーズを把握し、それに合致した教室を新設・増設するほか、一定数の利用者が見込まれる筋トレ教室の実施回数を増やす。</p> |
| 当年度結果 (※) | <p>施設の延べ利用者数の伸びが収益の増加に直接繋がらなかったものの、経費の縮減に努めた結果、概ね収支の均衡を図ることができた。</p> |

| 指標 | 経常収益 | | | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|----|---------|----|
| | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
| 中期経営計画 | 211,000 | | 211,500 | | 212,000 | | 212,500 | |
| 実績 | 見込 | 実績(※) | 目標 | 実績(※) | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| | 211,000 | 212,723 | 211,500 | 207,806 | | | | |

(3)組織に関する取組

目標「職員の資質向上及び職員数の適正化」

| | |
|------------------|---|
| 中期経営計画 における取組 | 今後、当協会の自律化に向け、同会固有職員による主体的な団体運営を行っていく。 団体運営に当たって執行体制を強化するため、職員の資質向上に係る職員研修を実施していく。また、人員体制の効率化に向け、業務内容のスクラップアンドビルドを行い、常勤職員数の適正化を図る。 |
| 当年度目標 | 職員の資質向上のため、職員研修を実施する。当協会及び健康増進センターの運営に係る課題の中から、テーマを検討し、職員研修を行う。 |
| 当年度結果 (※) | 自律化に向けた執行体制の強化を図るため、これまでから固有職員の積極的な役職付与とコンプライアンス研修や実務研修を継続して実施してきており、また、アルバイト採用を含めて人員配置の適正化に努めた。 |

| | | | | | | | | |
|--------|----------------|-------|--------|-------|-------|----|-------|----|
| 指標1 | 職員研修の実施 (単位：人) | | | | | | | |
| 中期経営計画 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
| | 23 | | 24 | | 25 | | 26 | |
| 実績 | 見込 | 実績(※) | 目標 | 実績(※) | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| | 23 | 23 | 24 | 24 | | | | |

| | | | | | | | | |
|--------|------------------|-------|--------|-------|-------|----|-------|----|
| 指標2 | 基幹的な職員の人数 (単位：人) | | | | | | | |
| 中期経営計画 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
| | 13 | | 13 | | 13 | | 12 | |
| 実績 | 見込 | 実績(※) | 目標 | 実績(※) | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| | 13 | 13 | 13 | 13 | | | | |